



渋谷本町学園だより

★HPアドレス★

<http://shibuya.schoolweb.ne.jp/shg>

令和8年1月8日発行 NO.9

渋谷区立渋谷本町学園

統括校長 松岡 弘悟

TEL 3373-3201

新年おめでとうございます

統括校長 松岡 弘悟

冬休みが終わり、学園に元気な子どもたちの声や姿が戻ってきました。令和7年度も残すところ3か月。学年のまとめとともに新年度に向けての準備を着実に進め、教育活動の充実に向けて取り組んでまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

【探究「シブヤ未来科】 12月17日(水)に青山キャンパスで「探究フェス」が開催されました。渋谷区公立学校全校の小学校6年生、中学校3年生(本校は9年生)が午前の部、午後の部に分かれて発表しました。発表時間25分という限られた時間の中で工夫されており、見応えのある発表でした。本校の6年生は、各クラスでの発表を行いました。9年生は、代表7組(チームや個人)の発表とともに、発表会場の進行役も務めてくれました。3月7日(土)の学校公開は、探究発表会を実施します。すべての学年で、これまで取り組んだ内容を発表いたします。ご参観いただき、励ましの言葉をいただけますようお願い申し上げます。

【子ども主体の学校づくり】 教育委員会の指定を受けて、民間事業者との連携によりプロジェクトを進めています。児童生徒会の活動を中心に、子供たちの意見を取り入れた教育活動を推進しているところでです。今年度は、中学校の体育着登校が実現しました。自分たちでルールを定めて取り組み、学校生活の充実に向けて、今後は他のことにも広がりを期待しているところです。

【学園の特色】 本校は、小中一貫校という特色を基盤として、教育委員会指定の英語教育重点校を受け、ALT(外国人助手)が常駐して、小学校から中学校まで英語科の教員と授業を行っています。

その他にも、下に創立10周年の時に作成した資料に特色ある教育活動を掲載しています。大変見づらいですが、9つの特色ある教育活動(黒太文字)が示されています。詳細をご覧いただきたい方は担任までお知らせください。紙ベースで配布するようにしたいと思っています。

The page is filled with nine columns of text, each describing a different program or activity. The columns are labeled with numbers 1 through 9. Each column includes a small image at the top and several photographs of students and staff throughout the text. The programs described include:

- 1 未来の力 (Goal 1)**: A program for elementary school students to develop future-oriented skills.
- 2 フィンテック (Goal 2)**: A program for middle school students to learn about fintech.
- 3 文化探求 (Goal 3)**: A program for elementary school students to explore Japanese culture.
- 4 経済社会 (Goal 4)**: A program for middle school students to study the economy and society.
- 5 ライフアドバイス (Goal 5)**: A program for elementary school students to receive life advice.
- 6 デジタルプロフェッショナル (Goal 6)**: A program for middle school students to become digital professionals.
- 7 ハーモニーリー (Goal 7)**: A program for elementary school students to promote harmonious relationships.
- 8 フィンテック (Goal 8)**: Another program for middle school students to learn about fintech.
- 9 地域 (Goal 9)**: A program for middle school students to engage with the local community.

At the bottom of the page, there is a section titled "Club activities" with several photographs of students participating in various clubs.

今後の行事予定 1月

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
			1 元日	2 閉学日	3	4
5	6	7 冬季休業日終	8 全校朝礼 6年生50分授業始	9 安全指導 委員会・代表委員会 都立高校推薦入試書類 提出始(9)	10	11
12 成人の日	13 中央委員会	14	15 幼保交流(IA・IC) 職場体験学習発表会 (7)	16 避難訓練⑨ クラブ活動⑧見学(3) 認知症センター講座 (7) 都立高校推薦入試志願者情報入力・書類提出終(9)	17	18 しぶやニュー駅伝
19 ブロック朝礼	20	21 幼保交流(1B)	22 児童集会(環境)(小) 領域診断テスト(8) 笹塚ボーリング大会(7)	23 英語検定 クラブ活動⑨見学(3)	24	25
26 令和8年度都立高校推 薦入試(9)	27 令和8年度都立高校推 薦入試(9)	28 特別時程 4時間授業(1~9) GTEC(8)	29 新入生保護者説明会 (小中) 4時間授業(1・2) 出前授業(3) 探究ゼミ公開授業(6D)	30 都立高校一般入試書類 提出始(9)	31	

本校のキャリア教育・進路学習

小学校では、これまで探究的な学習などでキャリア教育を行ってきました。6年生は、ゲストティーチャーを招いて、働くことの意義や、得意なことを生かして分業して働くことの大切さなどについて学びました。4年生は、福祉について学ぶ中で、幸せとは何か、よりよい社会のために自分に何ができるのかを考えました。またどの学年でも、前後期の節目や行事などの際に、めあてを書いたり、ふりかえりを行ったりして、キャリアパスポートとして記録をしました。継続した取り組みで、自己理解を深めたり、目標をもって自己管理を行ったりする力を伸ばしています。今の学年での学校生活も、あと3ヶ月となりました。これまでの学習を生かして、進級や進学への意欲をもって学校生活を送ることができるように、引き続き支援していきます。

【進路指導・特別活動部主任 主幹教諭 鈴木博之】

新しい年を迎え、学校全体で進路学習の取り組みが進んでいます。児童・生徒たちは、自分の将来を見据えながら、学力の向上や表現力の育成に力を注いでいます。特に第9学年では、面接練習や自己PRカードの作成など、進路実現に必要な活動を通して、自分の考えを言葉で伝える力を磨いている姿が見られます。そして、練習の中では、目を見て話す姿勢や、質問に対して自分らしい答えを返す工夫が見られ、確実に成長しています。こうした努力は、日々の授業や家庭学習の積み重ねによって支えられています。学校では、一人ひとりが自信を持って次のステージに進めるよう、学習面・生活面の両方からサポートを続けてまいります。進路は人生の大切な選択です。生徒たちが安心して挑戦できるよう、学校とご家庭が力を合わせて応援していきましょう。

【進路指導主任 主幹教諭 宮田 亮】



School of the Future HONMACHI 1年

1年生は、入学してからこれまで、たくさんのお兄さんお姉さんとの交流を通して、学校生活に親しんできました。4月には、6年生が企画をしてくれた「ウェルカムプロジェクト」が朝の時間に行われ、楽しいゲームやクイズ、読み聞かせなどで、1年生は笑顔で1日をスタートすることができました。2年生には学校を案内してもらったり、4年生には掃除の仕方などを教えてもらったりしました。9年生と体育館で一緒に遊ぶ活動では、笑顔あふれる交流の時間となりました。

1年生では今、生活科を中心に「Let's Enjoy! ~つなごう あそびのバトン~」をテーマに探究学習を取り組んでいます。地域の方々からこま回しやあやとりなどの「昔遊び」を教えていただきました。公園や校庭で見つけた秋を使ったおもちゃを作りました。さらに、2年生が生活科で作った手づくりおもちゃで遊ばせてもらい、作り方や工夫をやさしく教えてもらいました。

今、子供たちは、教えてもらった遊びを、今度は自分たちが小さい子や地域の高齢者と一緒に楽しむ計画を立てています。遊びを通して、人と人がつながり、笑顔が広がる時間になることを子供たちも楽しみにしています。3月7日の探究発表会では、これまでの活動をまとめて発表します。

第1学年主任 主幹教諭 牛田 かおり

ALT Message

Welcome the New Year
Japan and the Philippines

In Japan, the New Year (*Oshōgatsu*) is a time for reflection and new beginnings. People visit shrines to pray for health and happiness and enjoy traditional foods called *osechi ryōri*.

In the Philippines, New Year celebrations are lively, colorful, and full of energy. Families gather at home to welcome the New Year together, often staying up late until midnight. One of the most noticeable traditions is the use of firecrackers and fireworks.

Firecrackers are believed to drive away bad luck and evil spirits, while the loud noise is thought to bring good fortune for the coming year. Many people light firecrackers at exactly midnight, filling neighborhoods with bright lights and loud sounds. Families also prepare a special midnight meal called *Media Noche* and display round fruits, which symbolize wealth and prosperity.

Although Japan and the Philippines celebrate the New Year in different ways—one quietly and reflectively, the other loudly and joyfully—both cultures share the same hope to welcome a new year filled with happiness.

By Bernadette Dimalanta

日本では、新年(お正月)は振り返りと新しい始まりの時期です。人々は健康と幸福を祈るために神社を訪れ、おせち料理と呼ばれる伝統的な食べ物を楽しめます。

フィリピンでは、新年の祝いはにぎやかでカラフル、そしてエネルギーに満ちています。家族は新年と一緒に迎えるために家に集まり、多くの人は真夜中まで起きて過ごします。とくに目立つ伝統の一つが、爆竹や花火を使うことです。

爆竹には悪運や悪霊を追い払う力があると信じられており、大きな音は新しい年の幸運をもたらすと考えられています。多くの人々はちょうど真夜中に爆竹を鳴らし、地域一帯が明るい光と大きな音に包まれます。家族はミディア・ノチエと呼ばれる特別な深夜の食事を用意し、豊かさと繁栄の象徴として丸い果物を並べます。

日本とフィリピンでは新年の祝い方こそ違いますが、静かで内省的、もう一方はにぎやかで喜びに満ちています。しかし、どちらの文化も、幸せな新年を迎えることを共通の願いとして大切にしています。



Made with AI